

発言通告書の要旨(一般質問)

平成29年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨	
3月8日	1	2 石井勢三	1、三豊市の介護保険施設及び待機者の状況について	市民の皆様、「介護保険施設に入れない、いつまで待たされるのか」と、よく聞かれる。今後、超高齢化時代に向かうにあたって、今現在の三豊市の介護保険施設と待機者の現状、そして今後の計画を問う。	
			2、三豊市の観光協会と国際交流協会の今後の方向性について	三豊市の観光協会及び国際交流協会が3月31日をもって解散、さらには持続可能な地域の実現のため、交流人口の増加を図るとともに、地域商品の販売を通じて、地域経済の活性化を目指すべく、三豊市国際観光機構(仮称)を創設し法人化すると、公表しているが、今後の方向性を問う。 1、観光協会・国際交流協会の事業の引き継ぎは、あるのか。 2、三豊市国際観光機構(仮称)の規模及び重点事業項目は。 3、国際交流協会が交流していた相手国の今後の交流は。	
	2	1 市川洋介	1、公共施設等総合管理計画について	(1)市全体の道路や橋や水道などのインフラを含んだ公共施設等総合管理計画は、政策部で今年度末までに完成すると聞いているが、人口減少や財源の縮小が進む状況下、この計画を踏まえ特に公民館、スポーツ施設のあり方について問う。 (2)今後、学校開放や近隣市町村との連携、施設の集約化、複合化、収支状況の改善などの個別計画を策定するように要請されているがどのように考えているのかを問う。 (3)インフラ、道路整備は何を基本として策定し進めるのかを問う。	
			2、放課後児童クラブの開設場所について	(1)本市の開設場所の現状について問う。 (2)県内他市では小学校、幼稚園、保育所、児童館での開設が多いと聞くが状況を問う。 (3)小学校等での開設の場合、施設改修費用等は発生しているのかを問う。 (4)子どもの負担や保護者の安心感を考慮すれば空き教室がない場合等のやむを得ない場合を除き、極力小学校等で実施すべきであると考えがどのように考えているのかを問う。	
			3、火葬場の休場日について	(1)市内火葬場は昨年9月より保守点検維持管理のためとして月2回の休場日を新たに設けたが、この休場日に火葬ができず告別式を延期したと思われる件数と休場日のため他市町で火葬した件数を問う。 (2)昨年の9月以前は休場日がなくても保守点検維持管理ができていたのに、新しくすることでできなくなった理由を問う。 (3)休業日の廃止を検討できないのかを問う。	
	3	13 川北善伴	1、適正な行政組織と職員の勤務状態及びメンタルヘルスについて	(1)三豊市の10年間の職員数と時間外勤務の推移、適正な管理について (2)各課の業務量における職員数に大きな違いはないのか (3)長期の病気休暇の実態と対応策	
			2、的場排水機場の現状について	400ミリ、500ミリのオーバーホールは終わったが、600ミリの新機への交換は何年度を予定しているのか	
	4	10 詫間政司	1、公民館と図書館の連携による地域コミュニティ拠点の充実について	多極分散型田園都市の実現には、地域の核となる支所の市民センター化及び、各町公民館と各図書館を一体化した、地域コミュニティ拠点の充実が求められると考える。公民館と図書館の複合機能整備について問う。	
			2、公民館を核とした地域学習と幼児教育の連携・融合について	施政方針には、就学前教育環境の抜本的な充実を図るとともに、幼児教育の充実に取り組むとある。市の就学前教育環境整備に対する市の並々ならない意気込みが見て取れる。その真の目的は、地域やまちの未来を担う人を育成することであり、それをいかに行うのが重要だ。そこで、公的施設である公民館が地域学習情報を集約し、市内のすべての子どもと保護者等に、それが等しく届くようにすることによって、市の推進する「三豊型の幼児教育」になると考える。既にある地域の学習活動を公民館がつなぐことで、市が発信する新たな幼児教育の取り組みになる。公民館を核とした地域学習と幼児教育の連携・融合の考えについて問う。	
	3月9日	5	6 水本真奈美	1、女性活躍推進について	平成28年4月に職員が仕事と子育ての両立について理解を深め、また女性の活躍を推進するため、ワークライフバランスの実現にむけて「三豊市特定事業主行動計画」が策定された。 ①女性活躍のためメンター制度の導入について ②育児休業取得の目標と現状、新年度の具体的な取り組み ③市長を先頭に幹部職員による「イクボス宣言」を行いワークライフバランスの推進を図る考えを問う。
				2、特別支援学級、通級指導学級について	①本市の小中学校の支援学級、通級指導学級の現状と課題について ⑦特別支援学級の数、生徒数、教員数、配置基準 ⑧特別支援学級教員の特別支援免許取得者数と課題 ⑨通級指導教室の数、通級指導を受けている児童生徒数と教員の課題 ②障害への理解を深めるバリアフリー教育の推進についてのお考えを問う。
				3、ICT化と教員の負担軽減について	①学校ITC整備事業と事務軽減について ②教員の負担軽減、勤務環境改善の方針等を策定し、推進する考えを問う。

発言通告書の要旨(一般質問)

平成29年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
3月9日	6	8 西山彰人	1、保育所の民営化について	指定管理の決定に、競争原理が働いたのか、市民説明は十分か、またその効果についてを伺う。
			2、三豊市の観光行政について	株式会社を利用すると聞かざる実態について伺う。
			3、生活困窮世帯の子どもの対策について	生活困窮世帯の子どもについて、どのような対策を考えているのかを伺う。
	7	17 鴨田 借	1、保育所への入所について	保育所への入所に関しては、市内には待機待ち児童がいるようですが、待機待ち児童に関しての施策を伺う。
			2、高瀬駅周辺のグランドデザインについて	高瀬駅のトイレ改修と駅前の無料駐輪場の設置について伺う。
	8	11 金子辰男	1、ニート対策について	ニート対策において厚労省で「ひきこもり対策推進事業」を創設し取り組むようになってきているが、市としては現状の認識とその対策についてどのように考え、取り組んでいるのかを伺いたい。
			2、老朽化した、ため池対策について	ため池の管理は水利組合や集落などの受益者を主体とした組織によって管理されてきていたが、農家戸数の減少や土地利用の変化から管理の脆弱化が懸念されてきている。ため池補修などを市が主体として行っていくという考えはあるのか。
			3、ブラック企業の現状と対策について	長時間の過重労働、残業代不払い、ハラスメント、退職強要などが問われるブラック企業が取りざたされている。市としては、このような企業で働く人たちに対して、相談窓口などの整備とそのような企業の把握のための情報収集を行っているのか尋ねる。
	9	21 瀧本文子	1、第3次三豊市男女共同参画プランについて	・女性のあらゆる場面への参画と男女の共同により「一人ひとりが、自分らしく輝ける」社会を目指して、昨年、「三豊市男女共同参画推進条例」が策定されました。来年度は第3次プラン策定作業が課題となります。働く女性の活躍推進の観点から、市内中小企業に働く女性の実態把握が急がれるのではないかと。また、庁内職員の意識改革、取り組みの目標値の精査及び未実施の取り組みの対策、基本理念から重点項目の絞り込み、性的少数者の権利等々、課題は多い。推進協議会の責任と期待が一層増すこととなります。 市として、プラン策定をひかえて、現在の課題と対策、方向性等について伺います。 ・「政策・方針決定過程への女性参画の拡大」について、現在の状況と目標達成への取り組み状況を伺います。
			2、子どもの貧困対策について	今議会に、「子どもの貧困対策検討委員会」設置の条例案が上程されています。三豊市の実状に応じた、子供の貧困対策に関する計画の策定及び、その計画に基づいた、実施施策の検討を目的としています。すでに香川県は策定した計画に基づき、実態調査を昨年度実施しています。三豊市において、貧困の実態と課題からその対策まで、一貫した見通しのもと、施策を打つことは大変重要なことと思います。現在の三豊市の課題とその対策、今後の方向性について。また、来年度の取り組み計画について伺います。
	10	3 岩田秀樹	1、公共施設等総合管理計画の中心は長寿命化にすべき	インフラ長寿命化基本計画と自治体の行動計画「公共施設等総合管理計画」、しかし両者に対象や目的などで違いが出ている。今回の「計画」は、組織を横断する内容になっており、本来の計画にもとづき長寿命化が進むべき取り組みを進めるべきでは。
			2、子どもの医療費助成制度を高校卒業年齢まで拡充を	高校生をもつ世帯は、教育費や部活などの費用をはじめ家計の負担が大きくなる世帯です。低所得層にとっては、中学まであった就学援助もなくなり、家計の負担も一気に増えます。15～18才までの医療費無料化に要する経費は、試算もされている。
			3、小学校・中学校の給食費保護者負担の軽減を	幼稚園から高校・大学と学校教育活動費用に対する保護者負担は大きい。給食費に対する公費補助の実態はどうなっているか。一層の保護者負担軽減の実現、多子世帯の一人以上全額補助を実施に向けて取り組みを。
			4、就学援助制度の周知について	就学援助制度の必要な人に届く周知の実施に向けて、就学援助の案内を毎学年配布は、香川県は27.8%と46位です。三豊市の実態はどうか。